

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【公開番号】特開 2002-125207 (P2002-125207A)

【公開日】平成 14 年 4 月 26 日 (2002.4.26)

【出願番号】特願 2001-221841 (P2001-221841)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/08 (2006.01)

H 0 4 N 7/081 (2006.01)

H 0 4 J 3/00 (2006.01)

G 1 0 L 21/04 (2006.01)

H 0 4 N 11/00 (2006.01)

H 0 4 N 11/24 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/08 1 0 1

H 0 4 J 3/00 M

H 0 4 J 3/00 S

G 1 0 L 3/02 A

H 0 4 N 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 12 月 24 日 (2010.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】信号受信装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 伝送路を介して信号送信装置に接続された、D V I 規格ソースに準拠した信号受信装置において、

第 1 のデジタルビデオ信号、第 1 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び第 1 の制御信号が多重化された第 1 の多重信号を伝送する第 1 のチャンネルと、

第 2 のデジタルビデオ信号、第 2 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び第 2 の制御信号が多重化された第 2 の多重信号を伝送する第 2 のチャンネルと、

第 3 のデジタルビデオ信号、及び同期信号が多重化された第 3 の多重信号を伝送する第 3 のチャンネルと、

を含むチャンネルから信号を受信する受信部と、

上記受信部にて受信した上記第 1 の制御信号、及び上記第 2 の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第 1 の多重信号から、上記第 1 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号を分離するとともに、上記受信部にて受信した上記第 1 の制御信号、及び上記第 2 の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第 2 の多重信号から、上記第 2 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号を分離する分離部と、

を備えたことを特徴とする信号受信装置。

【請求項 2】 上記分離部は、

上記受信部にて受信した上記第 1 の制御信号、及び上記第 2 の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第 1 の多重信号から、上記第 1 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び上記第 1 のデジタルビデオ信号を分離するとともに、上記受信部にて受信した上記第 1 の制御信号、及び上記第 2 の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第 2 の多重信号から、上記第 2 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び上記第 2 のデジタルビデオ信号を分離することを特徴とする請求項 1 記載の信号受信装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、信号受信装置に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記問題点を解消するためになされたもので、映像信号とともに音声信号を伝送できる D V I 規格の信号伝送システムを実現可能な信号受信装置を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の信号受信装置は、伝送路を介して信号送信装置に接続された、D V I 規格ソースに準拠した信号受信装置において、第 1 のデジタルビデオ信号、第 1 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び第 1 の制御信号が多重化された第 1 の多重信号を伝送する第 1 のチャンネルと、第 2 のデジタルビデオ信号、第 2 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び第 2 の制御信号が多重化された第 2 の多重信号を伝送する第 2 のチャンネルと、第 3 のデジタルビデオ信号、及び同期信号が多重化された第 3 の多重信号を伝送する第 3 のチャンネルと、を含むチャンネルから信号を受信する受信部と、上記受信部にて受信した上記第 1 の制御信号、及び上記第 2 の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第 1 の多重信号から、上記第 1 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号を分離するとともに、上記受信部にて受信した上記第 1 の制御信号、及び上記第 2 の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第 2 の多重信号から、上記第 2 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号を分離する分離部とを、備えた、ことを特徴とするものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の請求項 2 に記載の信号受信装置は、上記分離部が、上記受信部にて受信した上記第 1 の制御信号、及び上記第 2 の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第 1 の多重信号から、上記第 1 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び上記第 1 のデジタルビデオ信号を分離するとともに、上記受信部にて受信した上記第 1 の制御信号、及び上記第 2 の制御信号を用いて、上記受信部にて受信した上記第 2 の多重信号から、上記第 2 の時間軸圧縮されたデジタル音声信号、及び上記第 2 のデジタルビデオ信号を分離することを特徴とするものである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

【発明の効果】

本発明の信号送信装置によれば、伝送路を介して信号受信装置に接続された信号送信装置において、第 1 の信号を時間軸圧縮する時間軸圧縮手段と、第 2 の信号に基づいて多重制御信号を生成する多重制御信号発生装置と、上記多重制御信号発生装置により生成した多重制御信号を用いて、上記時間軸圧縮された第 1 の信号と、上記第 2 の信号と、第 3 の信号とを多重化し多重信号として出力する信号多重手段と、上記多重信号及び上記多重制御信号を上記信号受信装置に送信する信号送信手段とを、備えたことより、第 1、第 2、

第 3 の信号を同一の伝送路で伝送する信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 1】

本発明の信号送信装置によれば、伝送路を介して信号受信装置に接続された信号送信装置において、第 1 の信号を時間軸圧縮する時間軸圧縮手段と、第 2 の信号に基づいて多重制御信号を生成する多重制御信号発生装置と、上記多重制御信号発生装置により生成した多重制御信号を用いて、上記時間軸圧縮された第 1 の信号と、上記第 2 の信号と、第 3 の信号とを多重化し多重信号として出力する信号多重手段と、上記多重信号を上記信号受信装置に送信する信号送信手段と、を備えたことより、多重制御信号を信号受信装置に伝送することなく、第 1 , 第 2 , 第 3 の信号を同一の伝送路で伝送する信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 2】

本発明の信号送信装置によれば、上記信号送信装置において、上記第 1 の信号は音声信号であり、上記第 2 の信号は水平同期信号または垂直同期信号であり、上記第 3 の信号は映像信号であるようにしたので、映像信号とともに音声信号を伝送できる D V I 規格の信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 3】

本発明の信号送信装置によれば、R G B の映像信号をシリアルデータとして伝送する D V I 伝送規格の信号送信装置において、上記 R G B の映像信号をシリアルデータとして伝送する第 1 のモードに加え、輝度信号、色差信号、及び音声信号の 3 つの信号を伝送する第 2 のモードを有し、上記第 1 のモードと上記第 2 のモードを切り替える切り替え手段を備えたことより、映像信号とともに音声信号を伝送できる D V I 規格の信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

本発明の信号受信装置によれば、伝送路を介して信号送信装置に接続された信号受信装置において、上記信号送信装置から、時間軸多重された第 1 の信号、第 2 の信号、及び第 3 の信号が多重化された多重信号を受信する第 1 の受信手段と、上記信号送信装置から多重制御信号を受信する第 2 の受信手段と、上記第 2 の受信手段にて受信した上記多重制御信号を用いて、上記第 1 の受信手段にて受信した上記多重信号を上記第 1 , 第 2 の信号に分離する分離手段と、上記分離手段により分離された第 1 の信号を時間軸伸張する時間軸伸張手段と、を備えたことより、第 1 , 第 2 , 第 3 の信号を同一の伝送路で伝送できる信

号伝送システムを実現可能である。

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

本発明の信号受信装置によれば、伝送路を介して信号送信装置に接続された信号受信装置において、上記信号送信装置から、時間軸多重された第1の信号、第2の信号、及び第3の信号が多重化された多重信号を受信する受信手段と、上記多重信号から上記第2の信号を検出する検出手段と、上記検出手段により検出された第2の信号に基づいて多重制御信号を生成する多重制御信号発生手段と、上記多重制御信号を用いて、上記多重信号を上記第1、第2、第3の信号に分離する分離手段と、上記分離手段により分離された上記第1の信号を時間軸伸張する時間軸伸張手段と、を備えたことより、信号送信装置から多重制御信号を受信することなく、多重信号を分離でき、また、第1、第2、第3の信号を同一の伝送路で受信できる信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

本発明の信号受信装置によれば、上記信号受信装置において、上記第1の信号は音声信号であり、上記第2の信号は水平同期信号または垂直同期信号であり、上記第3の信号は映像信号であるようにしたので、映像信号とともに音声信号を伝送できるDVI規格の信号伝送システムを実現可能である。

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

本発明の信号受信装置によれば、RGBの映像信号をシリアルデータとして受信するDVI伝送規格の信号受信装置において、上記RGBの映像信号をシリアルデータとして受信する第1のモードに加え、輝度信号、色差信号、及び音声信号の3つの信号を受信する第2のモードを有し、上記第1のモードと上記第2のモードを切り替える切り替え手段を備えたことより、映像信号とともに音声信号を伝送できるDVI規格の信号伝送システムを実現可能である。